

# WHO ファクトシート

## 髄膜炎菌性髄膜炎

Meningococcal meningitis

ファクトシート No. 141

2015 年 11 月

### 重要な事実

- ・髄膜炎菌性髄膜炎は細菌性の髄膜炎であり、脳、脊髄周辺を覆っている薄い皮膜に生じる重篤な感染症である。
- ・サハラ以南アフリカの拡大髄膜炎ベルト地帯は、西はセネガルから東はエチオピアに広がり(26 カ国)、この疾病の罹患率が最も高い。
- ・2010 年以前、大規模予防接種キャンペーンが行われるまでは、A 群髄膜炎菌はこの髄膜炎ベルト地帯で発症する全症例の 80~85%の原因となっており 7~14 年の周期で流行した。それ以降は、A 群髄膜炎の比率は劇的に減少している。
- ・2014 年の流行期を通じて、アフリカの 19 カ国でサーベイランスが強化され、1,146 人の死者を含む 11,908 人の感染の疑いのある症例が報告され、これは機能的ネットワークによるサーベイランス強化実施(2004 年)以来最低の数値である。
- ・この疾病の制御に有用な数種類のワクチンがある。A 包合体ワクチン、C 包合体ワクチン、4 価(A、C、Y 及び W)包合体ワクチンと髄膜炎菌多糖体ワクチンである。
- ・2015 年 6 月時点で、アフリカベルト地帯の 15 カ国で、1 歳から 29 歳までの 2 億 2000 万人以上が髄膜炎菌 A 包合体ワクチンを接種している。

本件ファクトシートについては厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)でも全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Meningococcal meningitis      ファクトシート原文は [こちら](#)